

# て暮らせるまちづくりを目指して

## 子育てと教育

### 未来を担う子どもたちの育み

どのような環境に生まれ育っても、子どもたちが笑顔で暮らせる「こどもまんなかまちづくり」施策を積極的に推進します。

- 子ども医療費の公費負担のあり方の検討など、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に広範な議論をスタートさせます
- 未来を担う子どもたちの視点に立ったまちづくりを目指す「(仮称)子どもの権利に関する条例」の制定作業に着手します
- 「ふれあいの杜子ども館」において都市公園内の立地を活かした特徴的な活動を取り入れ、子どもの健全な発達を支援できるよう地域と連携して取り組みます
- 老朽化した学校施設の環境改善などを進め、全ての人が安全で快適に学ぶことができる良好な環境の整備を図ります



## 暮らしと経済

### 安心して暮らせる豊かでしなやかな地域社会の構築

地域に自信と誇りを持って次代に引き継ぐ社会の構築を目指します。

- 新規就農者や農業後継者など多様な人材の定着と、経営発展に向けた育成・支援を行い、不足する労働力の確保、経営体を支える組織の育成・強化を図ります
- スマート農業の推進など農作業の省力化を図り、魅力ある持続可能な地域農業を構築します
- 森林環境譲与税も活用した計画的な森林整備と資源利用を進め、成長産業化や地球温暖化防止など森林の有する多面的機能が発揮される森づくりに取り組みます
- 水揚げされた魚介類の鮮度を保持し、付加価値を高め、所得の増加につながるよう取り組みます
- コロナ禍の影響を受けた事業者へ、各種制度を活用した経営の安定化や事業継続に取り組んでもらえるよう、商工会議所や商工会などの関係機関と連携します
- 長く住み続けられるよう住宅のリフォームなどの支援を継続します
- 高齢の方が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、外出を促す施策の検討や、保健事業と介護事業の一体的な取り組みを進めます
- 36年ぶりに本市で開催される全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会の実施を機に、市民へスポーツが持つ魅力を伝え、健康づくりへとつなげます
- 災害時に「自助・共助・公助」が効果的に行われるよう地域防災の担い手の育成に取り組みます

## 厚田と浜益

### 厚田区と浜益区の未来創造

自然共生社会を実現し、生涯にわたり生きがいと誇りを持って暮らせる地域を目指します。

- 浜益区では令和8年4月開校を目標に、保育園一体型の新しい義務教育学校の整備を進めます
- 合併20年の節目を迎える令和7年度を一つの区切りとして、地域の特色や状況に応じた地域自治、地域振興のあり方について検討を進めます
- 地域おこし協力隊や集落支援員の活動、新たな担い手確保事業などについて引き続き支援を行います

## 社会基盤

### DXによる市民生活の資質向上と次世代につなげる社会インフラの構築

デジタルが暮らしに浸透した「人にやさしいまちづくり」と、集約的都市構造の実現に向けて取り組みます。

- ホームページやポータルサイトなどにおいて24時間365日手続きができるオンライン市役所を目指します
- 行政情報や防災情報、加えて地域情報の広域化や即時化の実現に向け、新たな発信手法の検討を進めます
- 交通事業者と連携し、地域公共交通の「リ・デザイン」を進めるため、シン・交通計画の策定に着手します
- 昨年度実施したデマンドサービス実証運行の課題を整理し、地域に根差した交通サービスの導入に向け検討を続けます
- 札幌-石狩間は人の移動が多い一方、その公共交通機関はバスに限られます。そのため、環境にやさしい次世代型の交通手段について検討します
- 花川地区と新港地区を結ぶ「花川通」は、延伸工事に伴い大型車両の増加が予想されるため、既存道路の強靱化に取り組みます
- 造成が始まった緑苑台西地区では、周囲の土地利用を見直し、さらなる地域の魅力向上につなげます
- 除排雪については、地域の状況把握と検証に努め、時代に対応した持続可能な除排雪体制の構築を目指します
- 大雨などによる水害を防ぐため、河道を浚せつし、流下能力を向上させ、管理河川を適切に維持・管理します

## 未来への投資

### 石狩湾新港地域の未来創りと脱炭素・地域共生社会の実現

石狩湾新港地域では、都市と調和した産業空間を形成し、再生可能エネルギーの地産地活と環境先進都市ならではのビジネス価値の創造を推進します。

- 地域交流の場となる施設が立地できるよう都市計画を大幅に見直したことで、地域の新たな魅力創造とプレゼンスの向上につなげます
- 再生可能エネルギーを100%活用するIT企業やデータセンターなど情報関連産業の集積を進め、エネルギーの地産地活に向けた需給バランスの構築に係る検討を進めます
- 石狩湾新港地域の分譲率が8割近くに達したことから、長期末着手だった都市施設の利活用や、新たな産業空間用地の確保に向けた検討を進めます
- 環境・経済・社会の総合的向上とともに多様性を尊重する共生社会づくりを進め、持続可能な未来を目指します。
- 公共施設への再生可能エネルギーや省エネ設備の導入をはじめ、それらを活用した公共交通の実現に向けた検討を進めます
- 石狩市沖の海域が「再エネ海域利用法」に基づく「促進区域」に指定されるよう、環境との共生に向けた議論を重ねながら取り組みを進めます
- ごみの広域処理は環境負荷の低減につながるため、引き続き札幌市などと議論を重ね、プラスチックの資源循環については新たな処理方法について検討します
- 本市に暮らす外国人と文化や言葉の違いを乗り越え、お互いが安心して心豊かに暮らせる環境づくりとして、日本語教室などの交流の場を創設します



◀ 所信表明の全文は  
こちらから